

# 平成25年度第2回市民健康づくり推進協議会議事録

日 時	平成26年3月27日(木) 10:30~11:20
場 所	平塚市保健センター 1階会議室
出席者	委員 高橋委員、北島委員、杉山委員、林委員、 宮本委員、山崎委員、今井委員、尾崎委員、 金田委員、海宝委員、安藤委員、小椋委員 事務局 石田部長、二宮課長、柏木課長代理、岡田主管、 古田主査、河合主査 傍聴人 1人
欠席者	なし

## 1 開会

## 2 報告事項

### 平成26年度保健事業について

事務局から、平成26年度に実施する保健事業の概要及び予算について説明

【委員】意見等特に無し

## 3 議題

### 平塚市健康増進計画事業について

平成26年度は現行の平塚市健康増進計画の最終年度に当たるため改訂を予定していることや、「市民の健康意識アンケート調査(仮称)」の実施内容について、事務局から説明をし、委員に意見を諮った。

【委員】次年度の予定を見ると、この協議会の意見も計画の改訂に活かされていくようだが。

【事務局】平成26年度3回の市民健康づくり推進協議会で計画に関して諮っていく予定。ご意見を反映して実施していきたい。

【委員】アンケートの中で歯の清掃補助用具を使用しているかどうかの設問があるが、清掃補助用具を使用している人は、かなり意識の高い人だと思う。1日に歯を磨く回数などを問うた方がよいのでは。

【事務局】現行計画の中でも触れている部分なのでこちらの評価で実施していきたいと

思うが、今日いただいたご意見を参考にさせていただきたい。

【委員】 ロコモティブシンドロームやCOPDについて知っているか、という設問の意図は。

【事務局】 国の方針の中でロコモティブシンドロームやCOPDについての認知度の向上が目標とされている。

国は防止のためにはまず認知してもらうことを重要としているため、これにのっとっている。

【委員】 「ロコモティブシンドロームやCOPDはこういう症状のものだが、知っていますか？」というような設問にすれば、アンケートの対象となった市民への周知につながるのでは。また、郵送料の問題もあると思うが、アンケートにパンフレット等を同封するのも啓発につながるのでは。

【事務局】 国で実施している調査の設問と同じにして、平塚市の場合どうなのか数値の比較をするための設問となっている。

周知啓発もあわせてしたいところではあるが、統計をとるという趣旨に外れることなく同時にできるか検討したい。

【委員】 アンケートを自分で実際にやってみた。設問がページを跨ってしまっているところ等は高齢者にとっては見にくい。

運動習慣の質問については1年未満かそれ以上かを選択させるようにしてあるが、何年も運動を継続している人は多い。その2つの選択肢でよいのか。また、ストレスに関する設問については、ストレスがあるという回答の方がいいのか、全くなくても問題なのか。妊娠適正年齢について知っているかという設問があるが、妊娠するのに適正な年齢というものがあるのか。

【事務局】 設問がページを跨っている部分については、ページ数に限りがありどうしてもこの部分だけ跨ってしまっているが最終的にできるだけ見やすくしていきたい。運動習慣の質問については、1年を目安としている。また、ストレスに関する設問については、次のストレス解消に関する設問と併せて集計・分析することで活かしていきたい。妊娠適正年齢は、社会的な要因等、様々な考えが入ってくる。平塚市民が妊娠に適正な年齢とは何歳くらいと考えているかというところの統計をとりたい。

【委員】 「適正年齢」という設問の「正しい」という言葉はどうか。市民に受け入れやすい言葉に変えた方がいいのでは。

また、かかりつけ医を持つことに関する設問を加えてはいかがか。今回のアンケートから外国籍市民の方へもアンケートを送付するということだが、無作為抽出のうちの何%だったかということ把握しておくのはどうか。健康に対する意識についてもお国柄が出るかもしれない。

【事務局】 ご意見を参考に、アンケート実施に活かしてまいりたい。

## 4 閉会